

# 病害虫防除所情報 第1号

令和6年5月10日

山梨県病害虫防除所

## 【果樹カメムシ類の防除対策について】

### 〔発生状況及び今後の見通し〕

ア 定点調査ほ場におけるフェロモントラップへのチャバネアオカメムシ（図1）の誘殺数は、平年と比べてやや多い（図2）。

イ 病害虫防除員から果樹カメムシ類の飛来量が「やや多い」～「多い」との報告が寄せられている。

ウ 令和5年12月から令和6年2月の気温は平年と比べてかなり高く、降雪量は平年と比べて少なかったため、越冬個体数が多くなったと想定される。

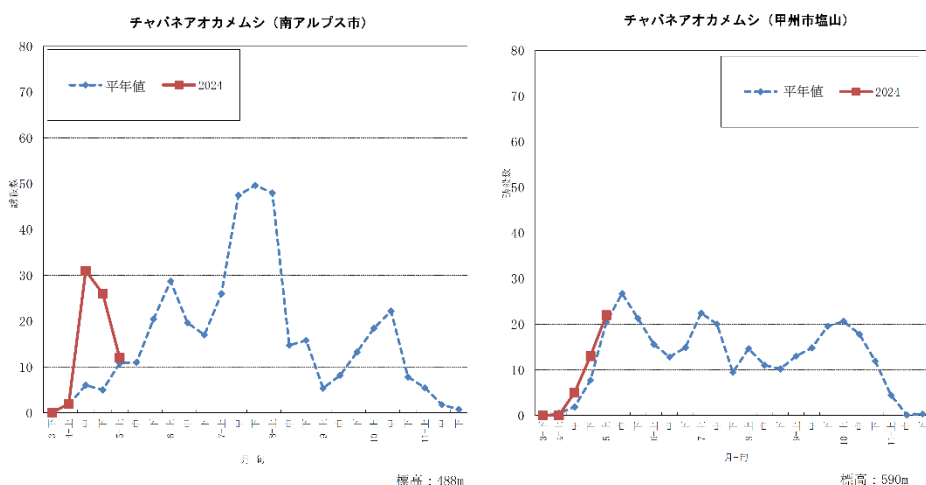
エ 気象庁5月9日発表、向こう1か月予報によると、気温は高い見込みであり、気温の上昇とともに活動が活発化することから、果実被害の拡大が懸念される。



図1 山梨県で発生する主な果樹カメムシ類

（左：チャバネアオカメムシ 中：クサギカメムシ 右：ツヤアオカメムシ）

### 果樹カメムシフェロモントラップ調査



平年値はH25～R5の平均値

最終更新は5月10日（金）です。  
次回更新は5月20日（月）以降の予定です。

山梨県病害虫防除所調べ

図2 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ誘殺数の推移

## [防除対策]

- (1) 果樹カメムシ類は山間部から果樹園へ飛来する。飛来量は地域やほ場によって差があるので、カメムシの動きの鈍い早朝または果樹園への飛来の多い夕方に園を見回り、発生状況を確認する。
- (2) カメムシは飛翔能力が高いため、薬剤散布は地域ごとに一斉防除を行う。
- (3) 防除薬剤は表1を参照する。薬剤散布にあたっては、登録内容を厳守し、飛散防止対策を徹底する。

表1 カメムシ類に登録のある主な農薬

分類	R A C	薬剤名	適用作物名						
			希釈倍率、使用時期／本剤の使用回数						
			スモモ	モモ	ネクタリン	ブドウ	カキ	ナシ	リンゴ
合成ピレスロイド系	3A	テルスターフロアブル	※※	3000倍 前日まで／2 回以内	3000倍 前日まで／2 回以内	—	3000倍 3日前まで／ 2回以内	3000倍 前日まで／2 回以内	3000倍 前日まで／1 回以内
	3A	アディオン乳剤	—	2000倍 7日前まで／ 6回以内	2000倍 7日前まで／ 3回以内	—	2000倍 7日前まで／ 5回以内	2000倍 前日まで／2 回以内	—
ネオニコチノイド系	4A	スタークル／アルバリン顆粒水溶剤	2000倍 前日まで／3 回以内	2000倍 前日まで／3 回以内	2000倍 前日まで／3 回以内	2000倍 前日まで／3 回以内	2000倍 前日まで／3 回以内	2000倍 前日まで／3 回以内	2000倍 前日まで／3 回以内

※スモモなど果実汚染、果粉溶脱が懸念される樹種では薬剤選択には注意する。

※※小粒核果類登録。